

## — 学会記事 —

## 2012年度 聖路加看護学会 理事会報告

## 第1回

日 時：平成23年11月4日〔金〕18：05～19：15

場 所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム

出席者：理事6人・監事2人・第16回大会長

## ＜審議事項＞

1. 山田理事長より各委員会の役割説明がなされた後、各理事の担当（案）決定を行った。構成案どおり承認された。
2. 指名理事として、佐居由美、田代真理、本田晶子の各氏が承認された。
3. 山田理事長より、総会にて議決された2012年度事業計画の説明がなされ、ニュースレターおよび学会誌の発行回数や時期について、確認や提案がでた。
4. 2012年度理事会スケジュール案に関して、資料に従い第7回まで決定した（第2回2012年1月20日、第3回3月9日、第4回6月15日、第5回9月14日、第6回9月21日、第7回11月2日）。
5. 資料に基づき山田理事長より説明がなされ、協議の結果、日本看護系学会協議会役員候補者に山田雅子理事長を推薦することとなった。
6. 新会員の承認および退会希望者報告：2人の入会が承認され、1人の退会希望報告がなされ了承された。
7. 会期変更に伴う役員の任期延長について、山田理事長より会則の確認が行われたうえで協議し、今回の役員任期の変更に伴う会則変更は不要と決定した。2012年度の役員任期を1.5年とするということを「申し合わせ事項」として提示し、2012年度総会に諮ることとなった。

## ＜報告事項＞

1. 新理事長より挨拶および新理事への委嘱状交付がなされた。
2. 聖路加看護学会第16回学術大会終了報告がなされた。保健医療のグローバルゼーションと看護の専門分化をテーマにして、講演、シンポジウム、一般演題発表がなされた。学会からの研究助成金を使って行われた若手による研究のポスター発表は活発だった。しかし、赤字にはならなかったが学会としての集客には課題が残った。また、合計6万円の寄付が集まり、「きぼうときずな」プロジェクトに寄付した。次回の大会につないでいきたい。例年通り、ニュースレター、学会誌に学術大会の報告を載せる予定。理事らより、バーバラ先生の講演がよかった、プログラムはとてもよかった、テーマがよかったのに参加できず残念だったという感想がだされた。
3. 山田理事長より、学会員数が600人に若干満たないこと、若い年代の看護師に対する入会案内活動に尽力していること、学会へのコミットを高める必要があり、課題であることが説明された。また、学術大会参加者数および学術交流集会数についても、資料に基づき報告がなされた。

## 第2回

日 時：平成24年1月20日〔金〕18：15～20：00

場 所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム

出席者：理事10人・監事1人・第17回大会長（＝理事長兼任）

## ＜審議事項＞

1. 2012年度聖路加看護学会第1回理事会議事録は承認された。
2. 新会員の承認および退会希望者報告：7人の入会が承認され、2人の退会希望報告がなされ了承された。

3. 2012年度学術交流集会企画案に関して、松谷理事より資料をもとに説明がされ、承認された。
4. 会計に関して、会計年度変更に伴い、過渡期に当たる今期に専門家（木村吉成税理士事務所 木村吉成税理士）を交えて見直しを行っている旨、山田理事長より報告があった。その後、田代真理理事より、資料の説明があった。各委員会への「口座振込」について提案および意見交換がされ、「各委員会の口座開設」について、木村税理士に再度相談することとなった。また、木村税理士との顧問契約書の内容を確認した旨、山田理事長より報告があり、異議はなく、今後契約することが確認された。
5. 会期変更に伴うスケジュール案について、森理事より資料をもとに説明がなされた。スケジュールを踏まえ、各委員会の事業が確認され、以下が決定された。
  - ・ニュースレター：2012年度（2011年10月～2013年3月末日）に、2回発行用の予算であるが、現在の予算にて3回発行が可能であるため、32号を2012年12月に発行する旨、ニュースレター委員会小山理事より提案され承認された。それに伴い、2013年度の32号33号合同号は、33号として発行する。
  - ・学会誌：会員サービスに配慮し、これまでの発行間隔を保ち、16巻4号を2013年1月に発行する旨、提案され承認された。2012年度（2011年10月～2013年3月末日）は2号発行予定の予算案（学術大会号を除く）であるため、16巻4号発行費用は繰越金を切り崩し確保する。次回の総会で補正予算を提出する。

## ＜報告事項＞

1. 第16回聖路加看護学会学術大会決算報告について、田代真理 slnr16企画委員より資料をもとに説明がされた。
2. 第17回聖路加看護学会学術大会について、山田大会長より資料に基づき進捗報告がなされた。
3. 学会誌編集委員会より、資料をもとに説明がなされた。
  - ・新委員は3人であり、他の委員は前期よりの継続である。
  - ・前期委員会よりの継続案件である諸規程の整備を行っている。
  - ・EBSCO データベース登録手続中である。
4. ニュースレター委員会より、下記の報告があった。
  - ・学会 HP：新規メンバーに更新済み。
  - ・ニュースレター30号発行・発送済み。
  - ・ニュースレター31号の掲載内容は、例年掲載している学術交流集会が今年度未開催のため、助成金による研究実施について原稿依頼（楽しかった点、くらしかった点など）を行った。全7演題採択者より原稿提出があった。興味深い内容であり、今後も同様の企画としたい旨、報告があった。採択者数を踏まえ、掲載内容を検討することとなった。
  - ・委員2人の紹介。
5. 学術交流委員会より、資料に基づき報告がされ、下記の追加説明があった。
  - ・助成金選考委員への委嘱状は学術交流委員会委員長より発行。
  - ・助成金応募締め切りは明日であるが、現時点での応募件数0のため、理事周囲への広報活動の依頼がされた。
6. 高度実践看護開発検討委員会より、資料をもとに説明があった。
7. 庶務より、資料に沿って報告がなされた。

### 第3回

日 時：平成24年3月9日〔金〕18：05～20：10

場 所：聖路加看護大学2号館 4階ミーティングルーム

出席者：理事9人・監事1人・第17回大会長（＝理事長兼任）

#### <審議事項>

1. 2012年度聖路加看護学会第2回理事会議事録は、一部修正のうえ承認された。
2. 新入会員の承認および退会希望者報告：25人の入会が承認され、4人の退会希望報告がなされた承認された。
3. 会期変更に伴うスケジュールに関して前回案を修正した。
  - ・2012年9月の総会：2012年度予算執行中間報告、2013年度事業案・予算案承認を得る。
  - ・2013年9月の総会：2013年度予算執行中間報告、2014年度事業案・予算案承認を得る。
  - ・ニュースレターに関しては4月発行に変更することに決定した。
4. 学会誌編集委員会から、以下の事項について資料に従い説明がなされ、承認された。
  - ①聖路加看護学会編集委員会規程の検討  
第4条第2項、委員長は理事が務める、と修正する。  
第5条、委員の任期は原則としてを入れる。
  - ②査読ガイドラインの検討  
修正点：「2. 査読の基準」から、査読結果の判定に関する後半の文章を「3. 査読の結果」の項を起こして別立てに修正する。
  - ③査読プロセスの検討  
査読のフローチャートを図示する予定。査読者2人を選定するのはかなり困難なので9月の評議員会にて、評議員のなかから査読委員を委嘱したい旨を説明・依頼することに決定した。
  - ④投稿規程の投稿の際の論文の提出部数の変更  
3部(原著の場合4部)という現行をすべて5部とする。
  - ⑤16巻3号(学術大会号)について  
学術大会号は庶務が買い取り、年間購読団体には届けられている。学術大会予算で発行しているため、会員には届けていない。
  - ⑥16巻2・4号発刊に伴う補正予算について  
2号に関しては、約18万円の追加補正を求めたい。4号発刊に伴う制作費および管理費と合わせ、約100万円の追加補正が承認された。
  - ⑦その他  
助成金を得た研究課題は、「原則として、研究成果は本学会誌に投稿する」とあるが、「原則として」を削除し、全研究課題の学会誌への投稿を義務とし学会誌の充実を図りたい旨、提案があり承認された。
5. 学会誌16巻4号の定期購読団体への対応に関して検討し、16巻3号を学術大会号(会議録)とし3号と命名しない、16巻4号として1月発刊を考えていた号を3号とする、16巻2号の1冊当たりの発行経費を踏まえ、次年度より年間購読は2号分で5,000円とすることが決定した。
6. 会計処理要項(案)について会計理事より資料に基づき説明がなされ、委員会予算執行に伴う会計支出管理について、予算10万円以上の委員会については口座を作り、10万円未満の委員会に関しては直接支払いを行うことが提案され、承認された。なお、「3. 支出管理と会計報告」の最終行の文章が、手元に現金残金があれば、通帳口座に戻し入れておくという意味か、どういう意味なのか解釈がむずかしい文章になっているので確認しておくこととなった。
7. 名誉会員候補について、検討の結果、2012年度は該当者なしと決まった。

#### <報告事項>

1. 第17回聖路加看護学会学術大会について、山田大会長よ

り、案内チラシを作成し広報活動をはじめ、配布した反応はよい感触を得ていること、およびプログラムの説明がなされた。市民公開シンポジウムへの参加は無料とする予定。ホームページのコンテンツを作成した、学会ホームページとのリンク予定であるとの報告がなされた。

2. 学会誌編集委員会より、資料に基づき委員会開催の報告がなされ、また、なるべくメール会議とし、遠方からの委員の交通費を使わないように儉約しているとの説明もなされた。
3. ニュースレター委員会より、31号の校正が終わり、まもなく印刷が終了すること、いつも印字されている発行日は3月であったが会費納入のための振込票を同封する関係で4月以降に発送することが報告された。
4. 学術交流委員会より、資料に基づき学術交流委員メンバー・研究助成選考委員会メンバー決定の報告・研究助成に関する選考の経過と結果が報告された。2月22日に選考会議を開催。応募は5件あったが3件を選考したとのこと。また、学術交流集は学術大会終了後17～18時で開催する、案内チラシをpdfで学会ホームページ・学術大会ホームページの両方で掲載し広報する、7月の学会誌送付時に同封することも追加する、ということで承認された。
5. 高度実践看護開発検討委員会からは、とくに報告事項はないとのことであった。
6. 庶務より、資料に基づき報告がなされた。

### 第4回

日 時：平成24年6月15日〔金〕18：15～20：00

場 所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム

出席者：理事6人・監事1人・第17回大会長（＝理事長兼任）・第18回大会長

#### <審議事項>

1. 2012年度聖路加看護学会第3回理事会議事録は、一部修正のうえ承認された。
2. 新入会員の承認および退会希望者報告：24人の入会が承認され、13人の退会希望報告がなされた承認された。
3. 学会誌編集委員会より資料をもとに説明があり、下記が決定された。
  - ①査読ガイドラインについて  
前回理事会にて指摘のあったか所の修正を行った。
  - ②査読プロセスについて  
査読プロセスの公表のためにプロセスを明確化した。  
査読者2人の判定と担当編集者の査読意見をもとに協議を行うプロセスの理解が容易となるように表現の修正を行い、次回理事会にて検討することとなった。  
査読者は論文の種類にかかわらず2人とし、査読結果報告の遅延に備えている旨も、併せて報告された。
- ③投稿期日の変更について  
ライフサポート社との話し合いの結果、投稿期日が変更された。3か月の編集期間を確保する期日となり、それぞれ2か月早く期限を設定し7月発刊分の投稿期限を11月末日、1月発刊分の投稿期限を5月末日とする。HPに訂正とお詫びを掲載する。
4. 会計処理要項(案)について、検討を行った。また、会期が1.5年である今期の学会誌発行(学術大会号を除く3号目)のための補正予算を立てることとなった。
5. 第19回聖路加看護学会学術大会大会長候補者が挙げられ、山田理事長が内諾を得ることとなった。
6. 2012年度総会に向けて、下記資料について山田理事長から説明があり、下記が決定された。
  - ・会期変更に伴うスケジュール案……決定
  - ・2013年度聖路加看護学会事業計画案……異議なし
  - ・会期変更に伴う役員の任期延長に関する「申し合わせ事



項」→文言を平易に修正した。

#### ＜報告事項＞

1. 第18回聖路加看護学会学術大会のテーマ・プログラムについて、秋元大会長より資料をもとに説明があり、理事からの異議はなく承認された。
  - ・事務局は岡山大学におく
  - ・演題査読、群分けなどプログラム関連の作業は岡山大学にて行う。
  - ・参加費：従来の学術大会での参加費を踏襲した。参加費設定に「学生」を追加し、「学生・大学院生 ￥3,000」とする。
  - ・第17回学術大会にてチラシを配布する旨、山田大会長の了解が得られた。
  - ・学術大会講演集について、下記が確認された。
  - ・表紙紙デザインは、学術大会号を学会誌として取り扱わないことになったため、これまでとは異なり自由である。
  - ・「第〇回 学術大会講演集」というタイトル、および背表紙のデザインは、これまでどおりとする。
2. 第17回聖路加看護学会学術大会について、山田大会長より下記の報告があった。
  - ・演題数：32演題（査読中）
  - ・参加46人申込（200人目標）
  - ・展示4社、広告9社（予定より増）の申し込みあり。
3. 学会誌編集委員会より、資料をもとに投稿論文数と発刊予定について説明があった。
4. 学術交流委員会より、資料をもとに説明があった。
  - ・2011年度助成金：会計報告に不備があった数件に修正を依頼している。
  - ・2010年度助成者の実績状況が説明された。
  - ・学術交流委員会主催学術交流集会（2012年9月22日 岩澤氏）のチラシを学会誌送付に同封する。
5. 高度実践看護開発検討委員会より、資料をもとに説明があった。
  - ・昨年度からの委員のうち、1人の辞退があった。
  - ・「看護ケア技術のリストアップ（一次調査）」のお願い（看保連）について、ヒアリング候補者は領域を特定せず、他の看護系学会理事を務めている近隣の会員を候補とすることとなった。
6. 庶務より、資料をもとに報告がされた。
7. 会計より、資料をもとに報告がされた。
  - ・年会費払込取り扱い票発送：現時点で6割の会員から振込があった。
  - ・決算報告書を公益法人会計書式としたため、総会時に補足説明が必要ではないか、との意見があった。

#### 第5回

日 時：平成24年9月14日〔金〕18：00～20：00

場 所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム

出席者：理事9人・監事2人・第17回大会長（＝理事長兼任）

#### ＜審議事項＞

1. 2012年度聖路加看護学会第4回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認および退会希望者報告：6人の入会が承認された。
3. 2013年度事業計画案は、異議なく承認された。
4. 2012年度補正予算案に関して、学会誌発行の1巻増、および投稿論文数の当初予定よりの増ページのために補正予算案が組まれた。2011年度の総会にて承認された2012年度予算の項目にて、資料を作成することとなった。
5. 2013年度予算案について、資料をもとに協議された。
  - ・会費納入率を90%とし、会費収入を修正することとなった。

- ・会費収入の減に伴い、庶務予算を中心に支出を再検討した。
- ・法人化に向けた項目変更のため、これまで選挙のない年度に積み立ててきた「選挙積立金」が別会計でなくなる。そのため、選挙を実施する年度に、選挙活動費の支出が発生する。

→会計が上記を踏まえ、予算を修正し次回理事会前に理事にメールにて連絡することとなった。

法人化に向け、繰越金を維持し、健全な予算執行を行っていくことが確認された。

6. 2013年度決算承認時期について、今年度予算は2013年3月に決算し、9月総会にて報告する予定であるが、決算承認のための評議員会は開催せず、会計監査を経て、理事・評議員にはメールにて連絡することが確認された（2012年度第四回理事会 資料9-1：会期変更に伴うスケジュール【決定】参照）。
7. 総会の進行について、「役員任期延長の承認」は申し合わせ事項のため、報告事項とすることが確認された。

#### ＜報告事項＞

1. 2014年度第19回学術大会は、評議員の森田夏実氏が内諾された旨、報告があった。
2. 第17回聖路加看護学会学術大会について、120人の事前申込があること、講演集は今年度より学会誌の通巻として扱わないため、学術大会事務局から聖路加看護大学図書館へ1冊寄贈される旨、山田大会長より報告があった。
3. 庶務より、資料をもとに会員数等の報告がなされた。また、会期移行期につき役員任期を1.5年とする「申し合わせ事項」文面が報告された。
4. 学会誌編集委員会より、総会用中間報告をもとに活動内容が報告された。また、前期委員からの申し送り懸案事項であるEBSCO Publishing社とのライセンス契約の検討について、学会誌は聖路加看護大学リポジトリにて無料公開されており独占ライセンス契約はむずかしいため、委員会では独占契約は行わないという結論が報告された。今後も独占契約を行わない旨、本理事会にて確認された。
5. ニュースレター委員会より、総会用中間報告をもとに報告がなされた。また、第2回理事会議事録中のニュースレター発行号数の確認がなされた。
6. 学術交流委員会より、総会用中間報告をもとに報告がなされた。また、学術交流会は、テーマ「看護師特定能力認証制度（案）」から多くの参加者が予想されるため、会場を301教室から講堂に変更することとなった旨、報告された。
7. 高度実践看護開発検討委員会より、総会用中間報告をもとに、会員から寄せられた「看護ケア技術」等について報告された。

#### 第6回

日 時：平成24年9月21日〔金〕16：30～17：25

場 所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム

出席者：理事8人・監事1人・第17回大会長（＝理事長兼任）

#### ＜審議事項＞

1. 2012年度聖路加看護学会第5回理事会議事録は承認された。
2. ニュースレター32号の発行時期：前回総会では1年半で2つの号を出す予定の事業計画案が承認された。しかし、ニュースレター委員会より予算内で3つの号を発行することが可能との判断から、本年12月に32号を出す計画への変更が提案されていた。ところが再び、委員長より、学会財政の逼迫を強く認識した、掲載を予定できる内容が乏しい、との理由で、12月発行号は取りやめたいという提案がなされた。理事会としては、この提案を承認することとなった。すなわち、第16回（2011年度）総会承認どおりの

計画に戻った。これに伴い総会資料の資料6の3. ニュースレターの発行は第33・34号から→第32・33号に修正することになった。

3. 2012年度補正予算案：予算の補正が必要になったのは学会誌編集委員会の予算であることと、変更点について説明がなされた。第16回(2011年度)総会承認の事業計画では、1.5年で2つの号を発刊するというものであったが、3つの号を発刊することへの変更に伴う予算案の確認を行った。同時にこれは査読進行中の論文の掲載について空白期間をできるだけ作らず早く掲載するという会員サービスの維持を重視したことを理由とするものであるとの確認もなされた。
4. 2013年度予算案：収支予算案についての説明がなされ、2011年度予算項目から公益法人会計基準項目への変更に伴う名称や内容等の確認を行った。
5. 新入会学会員(入会申込者)審査：1人の入会が承認された。
6. 学術大会講演集寄贈について：Medline, CINAHLを除く6か所の学会誌寄贈団体に学術大会講演集を送ることになった。

#### <報告事項>

1. 各担当からの総会資料の修正点について：総会資料として資料Bの4. 報告 に関して修正が加えられた旨の報告があった。

#### 第7回

日 時：平成24年11月2日〔金〕18：00～19：10

場 所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム

出席者：理事7人・監事2人・第17回大会長(=理事長兼任)

#### <審議事項>

1. 新入会員の承認および退会希望者報告：4人の入会が承認された。
2. 学術交流委員会関連事業について、資料に基づき以下の話し合いがなされた。
  - ①内規に「演題発表後1年以内に本学会誌に投稿する」の文言を追加および改廃に関する項を加筆する案について、協議の結果承認された。
  - ②2013年度研究助成募集要項の説明があり、異議なく承認された。募集期間が来月のため、ただちにHPに掲載し告知することとなった。
  - ③学術交流会企画と開催時期について、理事会から下記の意見がだされた。
    - ・双方向のやりとりが発生するようなスタイル
    - ・学術大会と同日開催日がよいと思われる。
    - ・アンケートの自由記述にあるテーマが適切ではないか。
    - ・上野千鶴子氏(社会学者、「おひとりさまの老後」著者)はどうか。看護職向けの講演が可能であり、看護職向けに話したいとの意向がある。
3. 2012年度理事会スケジュール案について、2013年1月理事会は議題がないと思われるため開催せず、次回は2013年3月15日(金)、2013年度第1回：2013年6月14日(金)に決定した。
4. JRRCとの包括許諾契約に基づく複写使用料支払について資料をもとに話し合い、著作権に詳しい図書館に相談することになった。
5. 会計田代理事より、三菱東京UFJ銀行口座閉鎖の提案があった。理由としては、本学会の運営資金が現在3つの口座にて管理されており(郵便局の振替口座(現金の出し入れができない)、ゆうちょ銀行、三菱東京UFJ銀行(学会誌収入納金先)、手持ち金庫)、4つの出納票があり管理が煩雑になっていることである。口座を整理するため、学会誌収入が納入される口座を閉鎖し学会誌収入の振込先はゆ

うち銀行とすることが、異議なく承認された。

#### <報告事項>

1. 任期延長された委嘱状が山田理事長より交付された。
2. 第17回聖路加看護学会学術大会終了報告が山田大会長よりなされた。
3. 第18回聖路加看護学会学術大会進捗報告がなされた(秋元大会長の代理で山田理事長が資料に沿い報告)。
4. 庶務より、資料に基づき報告がなされた。
5. 学会誌編集委員会より、資料をもとに以下の報告があった。
  - ・16巻3号が2013年1月に発行予定である。
  - ・原著として論文掲載がされない。
  - ・投稿して掲載が決定される期間は、4か月～8か月である。投稿後学会誌に掲載されるまでの期間は、6か月～12か月(平均9.25か月)であり、早期掲載がされている。
  - ・以前の理事会にて承認された査読プロセス(資料3-2)を、学会誌に掲載予定である。
6. ニュースレターについて、資料に基づき32号(4月発行)の原稿締切についての確認、また、次回発刊の学会誌に総会議事録が掲載された後にニュースレターが発行されるが、議事録とは主旨が異なるため「総会の焦点」は従来どおり掲載されることが確認された。
7. 学術交流委員会より、資料を踏まえ、以下のように2012年度学術交流会報告がなされた。
  - ・参加者約90人(非会員が会員より2人多かった)。
  - ・開催時期はこの時期でよいが開始時間は遅い(遠方から来ている、学術大会後にてやや疲労している等)、という意見があった。
  - ・満足48%であった。自由記載の感想で質疑応答がなかったのが十分でないということの反応だと思われる。ちなみに、「語り合いましょう」との記述があったが、意見交換等の交流の時間が設定していなかった。
8. 高度実践看護開発検討委員会からの報告事項はない、とのことであった。
9. 会計理事より、各委員会は今後も6か月ごとに会計報告することの確認がなされた。また、税理士に中間報告処理依頼中であること、2012年度の会費納入者は約400人(60.6%)であり納入率が低いため、会費未納者に振込用紙を再送付することなど、資料をもとに報告があった。

#### 第8回(書面)

日 時：平成24年12月20日〔木〕

回答者：8人

#### <審議事項>

1. 3年間年会費滞納による会員資格喪失予定者(22人)について、承認された。
2. 聖路加看護学会新入会学会員(入会申込者)審査：1人の入会承認がなされた。

#### 第9回(書面)

日 時：平成25年1月8日〔火〕

回答者：8人

#### <審議事項>

1. 聖路加看護学会新入会学会員(入会申込者)審査：1人の入会承認がなされた。

#### 第10回(書面)

日 時：平成25年1月22日〔火〕

回答者：9人

#### <審議事項>

1. 学会誌編集業務委託業者からの撤退要望を受け、急遽新規業者の選定が検討され、承認された。

## 第11回

日 時：平成25年3月15日〔金〕18：13～19：25

場 所：聖路加看護大学2号館 4階ミーティングルーム

出席者：理事8人・監事1人

### <審議事項>

1. 2012年度聖路加看護学会第7回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：1人の入会が承認された。
3. 退会者の承認：希望退会者32人と会員資格喪失者14人の承認がなされた。
4. 学会誌に関して
  - ①オンライン投稿への移行：亀井理事より投稿・査読プロセスに関する現在の課題が説明され、オンライン投稿への移行についての提案がなされた。メリットとして作業効率向上・間違いの防止・費用削減を狙える等の説明を受け、オンライン化が承認された。
  - ②4月1日づけで中村綾子氏から千吉良綾子氏に編集委員を交代することが承認された。
  - ③投稿規定の改定：現行の投稿規程では、「株式会社ライフサポート社内『聖路加看護学会誌』編集事務局あてに…」となっているため、「別途定めた聖路加看護学会誌編集事務局あてに…」とすることで承認された。別途送り先を掲載する。
5. 名誉会員候補について、検討の結果2013年度は該当者なしと決まった。

### <報告事項>

1. 第18回聖路加看護学会学術大会進捗報告がなされた（秋元大会長の代理で山田理事長が資料に沿って報告）。
2. 庶務より、資料に基づき報告がなされた。
3. 学会誌編集委員会亀井理事より、編集事務委託業者を変

更することになった経過について説明がなされた。業務量と報酬が折り合わないという理由で委託業者から17巻1号の論文編集作業後は撤退したい旨の通告があった。編集委員会は、よい会社があれば紹介してほしいとの理事長からの要請を受け、新規委託先候補業者に打診し条件が適合したことを理事長に報告、1月22日づけの書面理事会で株式会社ワールドプランニングに決定した。新規原稿は新会社に送るようにという依頼文を1月30日に会員に送付した。契約内容は資料のとおりで料金もいままでどおりである。なお、オンライン投稿・査読に関しても実績のある会社なのでシステムに関する情報収集も行った（資料「聖路加看護学会誌オンライン査読システム」）。転載およびリボトリの申請が各1件あり共に承諾したとのこと。リボトリに関しては著者の所属大学で公開する場合の届出を義務化するか、問合せがあれば対応とするか検討中とのこと。また、メディカルオンラインからの登録の働きかけもあり、有料化したら収入になるのでリボトリとの関連を確認し、抵触しなければ依頼を検討したいとの報告があった。

4. ニュースレター委員会からの報告はなかった。
5. 学術交流委員会松谷理事より、研究助成の選考および学術交流会の企画について資料に沿って報告があり、理事会でも意見がだされ、再検討することとなった。
6. 高度実践看護開発検討委員会山田理事長より、「看護系学会等社会保険連合」関連の報告がなされた。看護連の研究助成に応募したところ（専門看護師の外来での効果をエントリー）、採択されたとのこと。助成額は50万円。
7. 会計田代理事より、資料に沿って報告がなされた。これまで行っていなかった所得税管理が始まったとのことである。

以上